

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	13番 吉野 正浩	1 ごみの処理について	<p>1、令和4年4月からの民間委託に伴う可燃ごみの分別収集について</p> <p>① ごみ処理方式が変わり、分別方法が変更されるが、住民サービスへの影響が懸念される。特に、今後は、カーペット、カーテン、毛布など切断しても生ごみに出せず粗大ごみ扱いとなる。また、汚れのひどい衣類や下着など切断すれば燃えるごみとして出せたが、今後は衣類の日に出すことになる。住民から困惑の声が上がっている。見解を伺いたい。</p> <p>② 小川地区衛生組合から令和2年10月に提出された資料では、メタン発酵方式で処理できない残渣（発酵不適物：プラスチック製品、布等、ビニール製品など）はガス化改質方式で処理するとされている。処理施設変更に伴う、ごみの排出基準は厳しすぎるのではないか。</p> <p>2、ごみ処理の長期的なあり方の検討は、今後どのように行われるのか。</p>	環境課長
		2 環境保全・美化活動について	<p>1、「滑川町の環境をよくする条例」について</p> <p>① 条例制定の経緯と概要等</p> <p>② 環境美化の日 町内一斉美化運動の内容（参加状況、作業内容、成果等）</p> <p>③ 空き家・空き地の草木の繁茂に対する指導等</p> <p>2、不法投棄禁止対策について</p> <p>① 山林等への不法投棄されている粗大ごみの現状と対策及び処理</p> <p>② 道路、農地等へのポイ捨て対策と処理</p>	環境課長
		3 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」放送を契機とした魅力発信事業について	<p>1、滑川町及び比企市町村推進協議会の魅力発信事業の進捗状況と今後の計画等について</p> <p>2、魅力発信事業における成果・反響等はあったか（例：報道取材、観光協会への各種問合せ、町ホームページへのアクセス数、谷津田米の販売など）</p> <p>3、和泉三門館跡周辺の駐車場等の整備について</p>	総務政策課長 産業振興課長
2	12番 内田 敏雄	1 GIGAスクール構想の進捗状況について	<p>ICT技術の社会への浸透に伴って、教育現場でも先端技術の効果的な活用が求められる時代となりました。文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」は、こうした社会の変化を受けて小中高等学校などの教育現場で児童・生徒各自がパソコンやタブレットといったICT端末を活用できるようにする取り組みです。GIGAスクール構想は</p>	教育委員会事務局長

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		2 公共施設の 広域連携について	<p>ハードウェアの設置だけではなく、ソフトウェアや運用、保守、セキュリティなどさまざまな対応作業が必要と思われま。また、デジタル教科書は、2024年には無償となり普及促進が図られると聞いています。</p> <p>滑川町においても対応されているところですがその進捗状況について教えていただきたい。</p> <p>① ハードウェア、ソフトウェアの導入状況について ② ハード環境（学校無線 LAN、端末持ち帰りの可否等）について ③ 教職員への支援状況について ④ 活用状況について ⑤ 教育の急激なデジタル化に伴う問題点及び情報モラルの育成について</p> <p>滑川町では平成 28 年度に「滑川町公共施設等総合管理計画」を策定し、令和 2 年度に「滑川町公共施設個別施設計画」で長寿命化計画の策定を行いました。</p> <p>公共施設マネジメントの係る基本方針の策定及び計画的取組の推進は、維持や更新に必要なコストを試算し、予算の確保が厳しいことや人口構造が変化するなかで、どのように町民ニーズに対応していくのかという問題意識を明らかにしたものと思います。データに基づき実態を明らかにし、長期的なビジョンを示したということで、大変意義があることと思います。</p> <p>近年、公共施設マネジメントの観点からも広域連携の効果が注目されています。地方公共団体における広域連携は、従来から、一部事務組合の設置等による事務の共同処理として行われており、平成の大合併以降では、定住自立圏や連携中枢都市圏等の各種広域行政に係る施策が講じられているようです。比企地域公共図書館は相互利用ができます。厳しい財政状況の中、公共施設の老朽化や新しいニーズに対応した施設サービスの提供等に対応するために、公共施設の総量抑制や施設の長寿命化、管理運営の効率化等を考えるうえで公共施設の相互利用協定は選択肢の一つであると考えます。他自治体との広域行政の在り方についてのビジョンを伺います。</p>	総務政策課長
3	14番 阿部 弘明	1 町独自のコロナ対策を	<p>1、検査キットの配布を</p> <p>新型コロナウイルスの変異株オミクロンが猛威を振っています。町での感染者もこれまでにない状況です。町はワクチン接種に力を尽くしてきていますが同時にコロナウイルスの特性から検査の有効性が当初から指摘されています。現在、埼玉県では無症状者でも無料の抗原検査と PCR 検査を町内の薬局で実施しています。しかし、検</p>	健康福祉課長 産業振興課長

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>2 里山・谷津沼を守り農業遺産登録を</p>	<p>検査キットの不足が生じ薬局でも抗原検査はできない状況です。PCR検査も予約を入れないとできない状況です。この方法にはスマホでの登録や検査結果もスマホの操作が必要になることから高齢者などスマホが使い慣れた人でないとできないという問題点が指摘されていました。「検査ができない」という不安が住民の中に広がっています。今回のオミクロン株の感染は若年層での広がりが危惧され、実際に休園、学級閉鎖や休校などが相次いでいるのが特徴です。そのため、各自治体で検査キットを確保して保育園や小中学校などに配布するなど住民の安心に伝える方策がとられています。早急に症状のない教職員も含め定期的検査を実施することを求めます。さらに児童生徒などに配布して検査の協力を求めるなどの施策を行うべきではないでしょうか。お伺いします。</p> <p>2、住民生活支援、中小企業支援、農家支援の施策を</p> <p>政府は子ども世帯への臨時給付金や非課税世帯への給付を実施し、また、中小企業などへの事業復活支援金などがようやく実施されることになりました。しかし、いずれも制度の「穴」が大きく支援を受けられない方が多くいます。</p> <p>①コロナで困窮しているにもかかわらず今回の給付から外れた住民への支援</p> <p>②事業復活支援金の申請が始まりました。個人事業主や農業者への給付も可能です。各事業者が事前確認を容易に受けられるような支援をお願いします。</p> <p>③米価が暴落し農家の存続が危ぶまれています。町の支援をお願いします。お伺いします。</p> <p>比企丘陵の里山や沼、谷津田は日本で最初に農業遺産に登録された能登の里海・里山に匹敵し、特に滑川町の里山から流れる湧き水が沼、谷津田、そして河川に流れ、それが生み出す豊富な生態系が首都圏の近くにあることは稀であるとも言われています。城西大学の石黒直哉先生の発表で2021年の調査内容が明らかになりました。町内の15箇所のため池と一箇所の水路を調査した結果、3箇所のため池と水路で天然記念物ミヤコタナゴが自然繁殖するための「ドブ貝」の生息が確認されました。この調査は池をさらって行うのではなく、その水のDNAを「PCR検査」で調べるといふものです。この自然を守り100年後、200年後の未来につないでいくのは私たちの仕事です。一度失われた自然を元に戻すには100年・200年かかることを考えると現時点での保存は重要です。さらに、町が進める「農業遺産登録」に必要と言われている「多様な生態系の保全」にもつながります。この環境を守り存続させるため</p>	<p>環境課長</p>

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>3 公共施設や学校に生理用品を</p> <p>4 平和事業の推進</p>	<p>に町が「里山・谷津沼・自然保護」へ向けて条例制定など具体的な施策を検討することについて伺います。</p> <p>コロナ禍で非正規が多い女性の貧困が問題になっています。経済的に苦しく生理用品を購入できずに交換の回数を減らしたり、トイレットペーパーで代用するなどの実態があります。昨年、NHK クローズアップ現代+で「学生の5人に一人が生理用品の入手に苦勞している」と「生理の貧困」が社会問題として取り上げられました。以来、多くの自治体で独自に施策がすすめられ埼玉県では昨年7月より順次、全ての県立高校で設置がすすめられています。県内の自治体でも広がっています。この問題は女性の貧困問題だけでなく、人権問題としてとらえジェンダー平等の社会をめざす町の課題でもあります。「トイレットペーパーが置いてあるのに何故生理用品は置かないの」という声上がるのも当然です。とりわけ声を上げにくい児童・生徒が安心して通学できるように女子トイレの個室に生理用品を設置は緊急の課題として検討をお願いします。また、町の公共施設への設置もお願いします。</p> <p>昨年、核兵器禁止条約が国連で発効し核兵器についてはその存在自体が悪とされることになりました。しかし、今だ、核兵器保有国は核兵器にしがみつき日本もその国に追随していることは核のない世界を願う人類の願いと相いれないものになっています。町は非核平和都市宣言を発出し町内外に核兵器のない平和な世界を訴えています。そして、平和事業を行い「アピール」を続けています。しかし、この間、コロナの影響もあり十分な取り組みになっているとは言えません。そこで、今年は規模も内容も充実した企画を願うものです。特に今年は核兵器禁止条約が発効後、初めての締約国会議が開催されその具体化が図られる歴史的な年となります。展示とともに被爆者の体験を聞くなど多彩な企画を期待します。お伺いします。</p>	<p>総務政策課長 教育委員会事務局長</p> <p>総務政策課長</p>
4	5番 上野 葉月	1 サッカーグラウンド予定地について	<p>両表・大木地区土地改良事業から取得した土地はサッカーグラウンドとする計画が進められており、その用途で合意形成が図られてきたものと捉えています。現在はこの計画がとん挫している状態です。この計画について伺います。</p> <p>① 2013年に両表・大木地区土地改良組合が設立された頃にFCなめがわがサッカーグラウンドとして使用するという計画がはじまったと聞きますが、2013年のFCなめがわに所属していた子どもの人数・関わる大人の</p>	<p>教育委員会事務局長 総務政策課長</p>

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		2 子宮頸がんワクチンについて	<p>人数、また 2021 年の FC なめがわに所属していた子どもの人数・関わる大人の人数を教えてください。</p> <p>② グランド整備費・管理費が予定されない中、FC なめがわがそれを担うという計画の実現可能性をどのように考えていましたか。</p> <p>2021 年に国は子宮頸がんワクチンの積極的な勧奨を差し控えている状態を終了し、2022 年 4 月から子宮頸がんワクチン接種が勧奨されます。子宮頸がんワクチンは、安全性に課題があり、深刻な副反応が生じ、今もそれを抱えている子ども・若者がおり、その方々への救済措置は不十分です。</p> <p>① 2013 年に積極勧奨中止の対応がとられた状態から、何かしらの改善があったことによる勧奨再開なのでしょうか。再開の理由をお聞かせください。</p> <p>② 過去 5 年間に於ける滑川町における子宮頸がん発症の人数、子宮頸がんによる死亡者数を年代別に教えてください。</p> <p>③ 2013 年以前に、子宮頸がんワクチンが公費で接種されていた時期 3 年分の年度ごとの接種者数と、その年齢に占める接種者の割合を教えてください。</p> <p>④ 子宮頸がんワクチンの効果は何ですか。</p> <p>⑤ 子宮頸がんワクチンの副反応が生じた場合、その患者への対応・救済への施策を準備していますか。短期的な・長期的、両者についてお聞かせください。</p>	健康づくり課長
		3 新型コロナワクチンへの疑義	<p>① 新型コロナワクチンは、多くの方が 2 回の接種を終えた状態で、滑川町は今までになく感染者が増加しています。新型コロナワクチンを接種することで感染拡大を止める事が当初の目的だったはずですが、現在の 2 回接種者が 80% を超える状況で、感染者が新型コロナ発生時から最も多い状態をどのように捉えていますか。</p> <p>② 12 才以下の子ども、0-5 の乳幼児にも接種対象を広げる計画はありますか。</p>	健康づくり課長